夕刊 磐城新聞
三月九日發行
定價 一ヶ月金六十五錢
磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）

詩南社主催第四回 短歌會詠草（三）

『思』

せゝらぎの夕の音はいやまさりひとりの母の想ひ寂しむ　大平 松男

はゝそはの母とさかりて住む吾の生業想へば寂しさのあり　同

滿蒙の大平原に戰へるますらを思ふみくにのために　佐々木 顯

爆藥を抱き敵陣におどり込む勇士を思ふ大君のために　同

新しきインクの匂ひなつかしみ想ふことなど日記に書きたり　佐藤 正實

號外の鈴音も寒し戰線の友を思ひて心するどく居る　同

浪音になほ寢つかれぬ悲しさや萱の渚の女を思ほゆ　戸部 曙宵

うら悲し思ひせまりて松の葉をかめばすかしもほろにがき味　同

選炭場の埃の中にいつとなく消耗される若さを思ふ　小田山 滋

流彈にはかなく散るもののふのを猛きごゝろかはらしと思ふ　宮田 青波

（爆藥三勇士の譽いや高きに運惡しき人々を思ひて）

世にあらぬ友と思へず古手紙讀めば面わの偲ばれにつゝ　美﨑 一郎

思ひ出は春の野に嚙むすかんぼの柔かき莖の味にありけり　同

やはらかき餠草の芽を見し時に思ひの端はほぐれけるかな　小山田 滋

鐘の音を聞きつゝ眠る秋の夜に母の逝きしを思ひ浮べり　佐藤 行雄

ひとの世は淋しきものをいくたびか亡き人想ふ月ぞ悲しき　湯淺 榮美花

おさな兒と語れば樂し心なく何思ふてかひとり微笑む　同

ひし／＼と思ひはほそる醉さめて未だし春の寒さをおぼゆ　松村 清

ほろにがき我思ひ出に似たる哉土にとけゆく春の淡雪　萩原 たけ

冷しるき夜を衣かつき思ひやる雪の曠野に矛とれる君　同

我おもひつきつめて行くになぐさます冷ゆる小床に寢返りにつつ　山野邊 青市

たれこめて一日經ぬればわが思ひとりとめもなき事にふれぬる　同

年／＼に忘れて行くなき人を今日は思へり在りし面影　大竹 秋平

樹下こしたより樹下をつたひ思より思をたどり獨

時代警語

○勉强は成功の母なり……（ドンクイゾート）如何なる事業に限らず、事々にして勉强なれば必ず卓然たる大名を搏ち得るものである。又如何なる藝業もその絕妙極善の蘊奧はランヌ惰なる人の能く達する所でない。人をして富裕ならしむるものは他なし、勤勉の手勤勉の心のみである……

社會の今日

○ぶつ切つた檜の木株に腰かけて煙草をふかす三月の山　中西綠生

拈華微笑

初陣情攻めか初巡視か內務部長呆々の態で歸る ◇ 必ずしも福島縣か否か疑問だが

赤誠の分量では斷じて福島號だ ◇ 平町の三春を飾るべく萬丈の氣を吐くらん快 ◇

登仙の夢幻境からあの世へ文字通りの急轉直下 ◇ 再た氣溫緩むと嬉しい小名濱測候所の觀測

り歩めり　同

我が想容れられぬ悲しさに下駄踏みならし歸り來たれり　吉田 一

世の中の誰もがにくくてならぬ日ありこんな日しみじみ死なんと想ふ　同

たまたまに雪ふりしきる野を行きて奥滿洲のもの夫を思ふ　高久 晩霞

歌作ると想ひ耽ればいたつきの身の儚なさもしばし思はず　同

二月集（三）　島田忠夫

日常吟

きさらぎの埃たまれる窓の邊に日を吸ふ花の靜けさなみむ

おどろきて妻を看護れることも過ぎてうら安けさは悲疲つづく

あわたゞしく常に生くごとくわが云ひき今日梅はやき園に來て遊ぶ

夥しき選擧のビラをみてこしが公園に入りてしづごころなけれ

小夜中と夜のくだつ頃火をつぎて腦の澄み來るをおもひたのしむ

消息

○短歌雜誌『ヤマナミ』短歌募集　アララギ派歌人藤澤古實氏選『ヤマナミ』歌稿を募集中會費三十五錢發行所は東京市外幡ケ谷八八五藤澤方。猶同氏の略歷を左に揭ぐ。藤澤古實彫刻製作略年譜（帝展六回入選）○處女峯大正十四年帝展初出品初入選、○處女靜立像大正十五年卒業製作、彫刻科主席美校御買上、○白光聖德太子奉讚展出品、○白玉大正十五年帝展入選○張立像昭和二年帝展入選、○立塊人社展出品（この年は不出品同盟にて帝展に出品せず）○飛躍昭和四年帝展入選、○新樹同五年同、○女子の像同六年同、○淸水トンネルの功勞者岡村貢翁銅像同六年、○武井覺太郞翁銅像同六年（その他胸像數個の作品あり）大正三年十八才より島木赤彥に師事す、大正十五年三月赤彥臨終まで十三年間殆ど同居し、アララギの編輯にたづさはる大正十一二年より昭和三年迄アララギの選歌す、編著、○萬葉集を卷、○處女歌集國原、○曾根正庸歌集、○赤彥遺著柿蔭集、○赤彥全集全六卷の編輯實務

3月10日

△伊勢大廟成る（垂仁帝二五）△開港場にて踏繪の制を廢す（安政三）△博物館開館（明治五）△奉天占領（同三八）△濱口首相初めて登院△貴族院豫算總會で一般會計豫算衆議院通り可決、忠淸南道廳費復活△選擧法改正案樞密院から撤回△大谷句佛氏、破產事件解決のため京都區裁判所から京都に禁足を命ぜらる（昭和六）

講談 俠艶 女長兵衛

東京 斯波南叟

（一五四）

長兵衛笑つて 長『そんな馬鹿なことがあるものぢやアない、私は水野に格別恨まれるやうな事をした覺えは無い、よし又恨まれる事があつたにしろ水野十郎左衛門ともあらう人が、理も非も判らない事はあるまい仔細を話せば直に判ることだ、殺されるやうな事は何も無いのだからね』三『イヤ親分は自分の潔白な心に引き比べて然うお思ひなさるか知れませんが、築土下の長田の一件だつて、何しろ親分の息が掛つて、御新造を追出すことになつたのでげすし、彼の女が親類の關係から親分のことを何かと焚きつけたに違ひありません、夫故水野はヤッ氣になつて斯んな近間へあアした新築などをして、引ッ張出して嬲り殺しッてへ樣な狂言を書いたものでせう、今朝私共が聽き込んだのには、あゝ御行の松の女長兵衛親分、日の出の勢ひで切角彼れまで賣出しなさつたのに最う二三日と壽命が縮まつた、新築祝ひによばれたが最期生の身體で歸られるもので無い、氣の毒な事だと云ふのでございやした何故かと念を押すと今度の新築は女長兵衛を生け捕る爲めだ、長兵衛は容易ならぬ奴だから、風呂の中に煮え湯を沸かし其中へ打込んでゆで上げる、其の爲めに大掛りな風呂をこしらへたのだとね、是れが只の者の口から出たのぢやアねへ現在仕事に行つて居た、大工左官の口から出たのでげさア、何か取止めた事が無くちやア斯うした事を職人風情が口にする譯がないぢやア在りませんか、毎日〳〵仕事に行つて居るうちに彼是れ耳にする事を取合して彼アした噂を立てるので格段な證據はなくとも天に口なし人を以て言はしむると講釋師が能く言ふが、全く其通りだと私共は思ひやす橋場と相談して兎に角其の事をお耳に入れて置かうと來て見れば、親分が水野の使ひに行くと返事をした跡だつた。親分斯う云ふ譯でげすから、好き好んで危い場所へ踏み込むでも在りますめへ、何とか言草を付けて斷つてお呉んなせへな』三五郎も喜太郎も其誠意が面上に溢れて居ります。長兵衛は其んなこと位を恐れて一旦承知した事を跡へ戻すやうな人間ではない。しかし折角子分達が心配するのにと思ひますから 長『イヤお前達は何時も變らず俺の上を心配して呉れるゝ水野が何んで其んな事をするか、俺には一向腑に落ちないが兎も角も考へて見やうよ』と其場を濁す、兩人は氣が氣ではない 喜『親分、是れは私共二人だけのお願ひぢやア在りません、御行の松の子分一體のお願ひでげすせ、萬一親分の身に間違ひでも出來て御覽なせい五百人からの子分が迚も默つて引つ込んで居る氣支はねへので、然うなりやア一同が命掛けで荒ばれ込む譯になりやす、其處をどうかお考へなさつて』長『成程その邊もあるね、兎に角明日まで考へさせる事にしてお呉れ』喜『夫りやアまだ明後日の事でげすから、明日斷つたからつて遲いことは有りやすめへ』其處で兩人は長兵衛の前を下つて、三河島の長八などの重立つものとヒソ〳〵相談をした三『親分はあゝは言ひなさつたが、あの氣象から押して一旦水野の使ひに應と受合つた以上は假令殺されるのを承知でも行きなさるに違ひねへ、俺達は最う命の瀨戸際に立つたも同じ事だ喧嘩とか出入りの揚げ句とかでやられるのは仕方ないとしても、譯なしであの親分を殺したくはねへ、萬一何うしても行きなさると成つた時は仕方がねへから俺達二三十人すぐり立つてお伴を仕樣ぢやアねへか』八『夫れも無論好うございますが、此の止め役に一ッ向島の寺西先生を賴んで見たらどうでせう、親分も先生の言ふことは能く聞きなさるからね』と長八の發案

ラヂオ

十日…（木曜）　仙臺 JOHK

△前七、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理獻立（ほつかけ飯）松本良雄 日用品値段（鮮魚るい）
△一〇、三〇A 家庭講座（銃後の人）安部季雄
△正午 A 時報
△後〇、〇五 獨唱と管絃樂 獨唱…井上協子 東京ラヂオオーケストラ 指揮…篠原正雄
△〇、四〇A ニュース 告知事項
△二、〇〇B 法要中繼（日支事變戰死者追悼大法要！）京都西本願寺阿彌陀堂より中繼 本派本願寺
△三、四〇 氣象通報 ニュース
△五、三五 講演（時局多難の裡に陸軍記念日を迎へて）第二師團司令部附陸軍少將中川金藏
△六、〇〇A（子供の時間）ラヂオスケッチ（陸軍記念日）東京放送室話劇協會
△六、三〇A 英語講座（中等科）堀英四郎
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
（陸軍記念日の夕）
△七、三〇A 講演（陸軍創草篇）法學博士尾佐竹猛
△八、〇〇A 吹奏樂（日本陸軍の歌）陸軍戸山學校軍樂隊
△八、一〇 講演（戰役篇）參謀次長長崎中將
△八、三〇 軍歌（明治、大正軍歌）陸軍戸山學校軍樂隊
△八、四〇 狀況（放送現代陸軍篇）第四師團
△九、二〇A 軍歌（昭和軍歌）陸軍戸山學校軍樂隊
△九、三〇A 時報
△九、三〇C 奉天より（擧國一致）在華各兵士代表者
△九、四〇 ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
積雪量

廣告

見習生募集
十四才から十六才迄
高橋時計店（委細面談）

融通低利 蓄積安心
三年無盡
大藏大臣免許 湯本無盡會社 電話四七番
僅かづゝ積む强制貯金 無盡が生み出す千兩箱

藤沼醫院 平町紺屋町 電五〇七

安齋外科醫院 平町田町 電四七五番

夜間診療
胃腸 梅毒
內科 十二指腸蟲病 專門 內科部
淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

一圓十錢のフランスマルソー會社元詰 生葡萄酒
マルソー、ブランク マルソー、ルージ
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥店 おはなし三番

耳、鼻、咽喉科 氣管、食道科 專門
平町南町（電一〇七番）
大和田醫院 大和田郡司
（自炊の便あり）

營業所開設
倍舊の御引立相仰ぎ度奉懇願候
芳醇銘酒 白馬の雪 ハクバノユキ
平町二丁目一一 白馬の雪營業所
辰の口本家 松本德一
電話 二五四六 二八五 本店 營業所

りんしけ病 永らく病む人の福音
天下の名湯別府溫泉で出來た（無効返金責任藥）
商標登錄 りん病しけ 別府湯藥
全國知名新聞雜誌推奬（朝日、東京日日、大阪每日、富士、講談俱樂部、主婦之友廣告乞御參照）右は岩里家古來より家傳秘法藥にして男女血ウミ慢性淋病コシケ消渴の痛みは不思議に止り連服するも絕對胃腸障害なき名藥であります。尚ほ此の藥は責任速効藥で二日內服して効無き時は殘藥引換に全部異議なく返金します、論より證據服藥した人は皆全快喜んで居られます。◎慢性、惡性頑固性の人は七日以上服用して下さい美本淋病治療書無代進呈（此の新聞名記入申込者に限）代金引換廿三錢手數料前納の事、前金申込者には送料無料送藥す。
藥價…急性用 黑箱 一週分 金三圓　慢性、惡性用 赤箱 一週分 金五圓
特約一手販賣 平町古鍛治町一〇 阿康藥舖 縣社の下（電話四四番）

生花教授
池ノ坊流 生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館 須藤まつの

デンキ機具何んでも取揃へ皆さんをお待ち致して居ります
◎無電池式電話機の發明と室內電話機の一大革命
◎ゼーオー電話機（呼鈴兼用）金二十八圓也 附屬品取付費共
本機の五大特長 無電池なるが故に
一、永久じ石を應用し量に於て遞信省電話と大差なし
二、維持經費を要せず永久使用に堪ぶ
三、取付簡單、線な右でも左でもつなげば通話が出來る
四、電池式の如く長距離、近距離の差別なく且つ電池の有無强弱により摩りようの變る事なし
五、電流より起る雜音を交へず內容共儀が聞える
空氣利用 呼鈴兼用 非常報知機
深刻なる不景氣は世道人心を惡化し强盜は橫行し眞に恐怖時代の出現であります、隨て極惡鄙劣の犯罪を生み出す事頻々にして各警察防犯係の方々が日夜食を忘れ警戒なして下さいますが中々容易な事でありません、本器一個の備付によつて火災盜難等の惡難を逃れ安心幸福を得られ平常は呼鈴として使用が出來ます。
附屬付取付費共 一組 金三圓二十錢也
平町田町一九（藤田女學校際）
ラヂオ製作及附屬品販賣 電氣機具一式 モートル修理 電氣工事請負
古山電氣商會

本社の慰問に對する謝狀一束　132

滿洲から

砲彈破片創を受けて一時失神狀態に陷る

反吉林軍討伐二月交戰記　中

大浦村出身　特務曹長　西山義四郎君

然るに朱杜、丁超の反吉林軍の諸將領の率ゆる約二萬の大軍が吉林自衛軍なる名稱の下にハルビン市の國際都市を背後にし

◇天嶮を恃んで　我が軍を郊外數里の地點に喰ひ止むべく策動致し居り双城堡北方六里のソウコウ黃五屯部落に約六百餘の敵陣地あるを知り三日午前十時双城堡出發第○○隊前衛午後二時例の支那式戰鬪振り亂射亂擊我れ亦猛進し我が砲兵六砲聲殷々として轟き戰車タンク六臺も戰鬪加入、諸兵協同して

◇頑强なる敵を　見事蹴散らしたる次第にて候、此の戰鬪に於て○隊は戰死三負傷十一名を出したるは遺憾に堪へず候、三日夜此の地に前夜の如く嚴重なる警戒をなし戰鬪準備の上宿營致し候、四日早朝此の地を出發時に寒天下に有之零下二十五度强行軍を斷行せられユコピッチに到着し反吉林軍を前にして師團命令を待ち

◇敵情地形を偵　察致し居り候、午後三時三十分步○○右、步○○左、步○○中央第一線攻擊命令下り一齊に前進致したる次第にて候、然るに敵は我れに數倍加ふるに彼等に取つては甚だ有利な吾等に取つては甚だ不利な防禦を背後に致し更に天險の營造物に凡ゆる防禦を施し必死となつて食ひ止めんとしたるものにて候

◇非常に苦戰し　たる次第にて就中、中央攻擊隊たる○隊は最も損害を被り候敵の重輕迫擊砲彈は物凄く能く隙なく發砲し小銃彈は雨の如く飛來し東北福島健兒の鬼○隊は物ともせず機敏なる行動により敵の最も苦痛とするハルビン郊外南方六百米記念碑北方部落を占領し此の據點を確保致し敵の弱點を探とし機を見て攻擊に轉せんとせられたるものゝ如くにて候、此の時第三○隊長なりし

◇私は三線に分　散し火線構成距離に達したるを以て○隊長の意圖を承知する樣二百米程前進し的確に承知致し伏せをなし居り候所例の砲彈落下し爆裂の瞬間五米後方に重迫擊砲落下熾りつけられ右下腿及左下肢竝に腰部に砲彈破片創を受け一時全く爆音の爲氣絶致し候。

愛國機　福島號獻納　寄附金造成演藝會

十三日四倉町で開催

四倉町青年團本町分團主催の愛國機福島號建造費募集演藝大會は來十二日午後六時より同町海盛座に於て開催するが會費は十錢であると

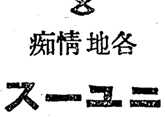
平青年幹部も獻金の協議會

平町青年團幹部會は昨八日午後七時から平庶民金庫樓上で開催愛國機福島號建造資金として町內一分團より金二圓以上を

赤土內務部長に十數件の陳情

初巡視を了り八日歸廳

過般郡下視察中であつた赤土內務部長は昨八日歸廳したが郡下では同部長の來郡を機とし磐崎、玉川兩村代表三十名が藤原川堤防改修工事を陳情したのを初め植田町鮫川疏水復活、湯本町上水道及び湯川改修縣補助、小名濱港修築費復活、內郷、高野線村道の縣道編入　四倉、久之濱線縣道改修、平町國道鋪裝並南町裏道路改修費、新川水害豫防費縣補助など大小十數件の陳情あり夫々事情を聽取する處あつた



各地情痴ニュース

△不義の戀は短し　京都府愛宕郡八瀬村字御所谷の山林中で眞紅のしごきをつるして縊死せる心中死體を發見加茂署から係官出張檢視すると右は東京市芝區西應寺町三古物商植村鐘三內緣の妻林しづ(三七)及び同家の雇人平田喜代治(三〇)と判明、原因は不義の戀愛關係を夫に感づかれたので遥々京都へ落延びて死を決意したものであると

◇執念丑の刻詣り　神戸市須磨區戎町五丁目山下グラウンドの松の樹の下に藁人形を拵ね頭部に頭髮をつけ五寸釘七本を打ち込みその人形の下に明治三十四年丑年生れ　ちゑ『或はよしる』と記してあるのを通行人が發見斯くと所轄署へ屆出た多分戀女に振られた男が女の無情を呪ひてのものらしく須磨署で取調べ中

◇女給の失戀自殺　兵庫縣加古町高砂町農人町生れ明石市東王子町一丁目ゴム職工北本一夫(二四)は豫て明石市材木町カフェー竹馬の元女給靜子(二二)と關係し子供まで儲けたが最近靜子は情夫を拵え行方を晦ましたので失戀のはて明石市戎町岩屋神社の境內で多量の硫酸を嚥下し自殺を企てたが危く生命は取り止めたものである

◇墮胎料五圓也　岐阜市初音市岩田ふじゑ(三四)愛知縣葉栗郡草井村田中利榮內の妻伊藤やゑの(四三)の兩名にかゝる墮胎被告事件が今度岐阜區裁判所に於て公判開廷されることになつた右はふじゑが姙娠中情夫に棄てられたのでやゑのに事情を告げ五圓の謝禮金を與へて墮胎手術を施して貰つたものである

◇心中の片割れ　京都府下船井郡園部町大字大村指物職市太郎二男內藤信一(三五)は豫ねて京都郵便局に奉職中馴染になつた京都市宮川町大君樓抱え藝妓とん八こと田川末子(一八)を兵庫縣明石郡垂水町小屋谷の密林で絞殺したが死相に怖氣づき死に遲れて逃走した

第一生參拜

武運長久を祈願

平第一小學校では明後十一日遠足を催すが行先きは左記各神社である

(一)好間村愛宕(二)飯野村白土八幡(三)平窪村諏訪(四)夏井村大國魂(五)內郷村金谷鷹打場(六)草野村澤村(高等)赤井村鹽田諏訪

雜音は斷くして―容易に除かれる―

振動式充電器使用者に　仙臺放送局の希望

石城地方のラヂオ利用者は最近著しく增加したが雜音の爲に聽取れないと云ふ話を屢々聞いてゐる。斯樣な雜音妨害を調べて見ると聽取者が放送中に振動式充電器を使用して蓄電池を充電してゐる場合が最も多い。振動式充電器は電燈線に不純な强い電波を發生せしめるものであるから一軒の家で是を使用してゐると附近數丁四方に妨害を與へ若し四五ケ所で是を使用してゐると極めて廣範圍の聽取者全部が不愉快な雜音に惱まされることとなる、此の樣なことは各自の注意に依り充分防止出來ることであるから振動式充電器の使用者は放送時間外例へば放送終了後より翌朝迄に充電するか又は他の妨害音を發生しない充電器を用ひてお互に他の聽取者に妨害を與へない樣充分注意され度いと仙臺放送局では希望してゐる

時局に刺戟され看護婦志願激增

平署管內に於ける仙臺市東北醫科大學附屬病院看護婦應募者は二十名に對し今九日午前九時から署會議室で試驗を執行したが最近滿洲事變に刺戟され同署に看護婦志願書を提出するもの每日四五件に達して居る

愈々時日が押し迫り　昭和產業博覽會の準備進む

出品者の意氣込みも漸く本格的に

櫻花と相俟つて平町の春を飾る昭和產業博覽會々場は既に半ば完成し目下出品或は賣店の申込等多數殺到して非常な人氣を煽りつゝあるが特に第二會場は時局柄上海、錦州等の戰鬪大パノラマを設置する計劃中で尙郡內の重なる出陳としては磐炭では第三會場にコールカッター(鑿岩機)を運轉し動力利用の石炭採掘實況を實演し帝國生命保險會社平出張所では會場內に無料休憩所を設け美人の接待に百パーセントのサービスを發揮する等何れも負けず劣らずの準備が進められつゝある

○○○○○

類燒者へ見舞金　平理髮組合第一部では昨八日早曉の火災に類燒した組合員若松德彌の爲理髮結髮同業から十六圓を醵金して贈つた

十三日例會

長久保赴氏講演

十三日例會は午後七時からマルトモホールで開催磐城炭礦技師長久保赴氏の『石城郡の溫泉脈に就て』と題する講演がある

被告二青年の正當防衛を主張

夜祭の傷害致死事件公判

植田町字江幡松田松壽(三三)同高木正明(三〇)が昨年九月九日午後十一時頃渡邊村不動尊境內の盆踊り歸りに泉村青年に包圍され所持せる短刀で吉田新(三〇)に全治四週間を要する傷を負はせ鈴木平治(三五)を死に至らしめた事件の第二回公判は今九日午前十時から中島裁判長係り關口、佐々木兩判事陪席市川檢事關與武田、山野邊兩辯護士立會開廷市川檢事が松壽に懲役四年、正明に同三年を求刑、武田辯護士は高木に就て正當防衛の無罪論あつて正午休憩午後續行山野邊辯護士も松壽の正當防衛を主張する處あつた、十六日午前九時判決言渡しある筈

明日頃から再た氣溫は緩み出す

昨夜來の降雪に就て　小名濱測候所の觀測

先きの雪融けが未だ乾かぬうちに再た雪。兎角三月頃の氣溫はともすれば一進一退で從來極めて凌ぎ良かつた丈けに些か冬に逆轉の感無きを得ない　今回のは昨八日の午後日本海に在つた低氣壓が漸次發達して不連續線になつた爲であるが右は既に今九日の朝石城沖合を東に通過して終つたので天候は直に恢復する、支那方面の高氣壓によつて低下した氣溫は其の期間が極めて短かゝつたので明十日頃から緩み出す、石城地方從來の氣溫は例年の平均より一二度高かつたが昨八日は平年位になつた今回の積雪量は○・六センチ(一分九厘八)である。

平商校修卒業式

來十二日證書授與式擧行

來十二日證書授與式を擧行さるゝ平商業學校卒業生は左記の如く五年四十名、三年百六名である

(イロハ順◎優等○無缺席)

(三年終了)岩崎庄三、石山正夫、池田錦之助、○石川悳一郎、○石井德次、猪狩敏、猪狩英明、五十嵐二郎、市川武、江尻正、○飯島敬、長谷川武士、長谷川圭吉、新妻新一、西郡力男、○新妻秀、○本田秋○堀川一男、本田佐源太都甲保敏、◎富田二郎、大谷行夫、大平富重、大矢藤四郎、大高大、大村邑司、大越山、大平一郎◎小原修一、岡田正見、小野正、○小野瀨重吉、大和田正雄、大平文太郎○渡邊善彌、渡邊文男、渡邊祐助、渡邊務、渡邊一、加澤行之進、金成榮二、金田定男、河野清一吉田靜磨、◎樽石勇助、田部井幸男、武子安男、田口文典、高木武志、田仲清、田名網欽一郎、高野鐵雄、田山正雄、○高木吉郎、○柚木秀雄、塚越説雄、中川榮、植野榮久保木茂福、○九頭見榮山家正、◎山田正直、山田勝己、○山田定、增澤勇、馬目淸、○間宮喜久雄、馬目貞二、深谷一郎藤島武、福富久、小山喜一郎、小泉浩平、小林三男、○小滯幸一、相場星雄、廠原好重、安島賢二佐々木道典、佐藤武雄、佐藤致中、佐藤初德、三部幹夫、齋藤武雄、酒井時寛、佐藤慶三郎、齋藤三男、佐々木健夫、○佐藤繁雄、佐藤行雄、坂本泰造、木村武男、志賀謙二、◎○四家黛、久野半四郎、廣田良夫、○門馬利治、關場修一郎、鈴木忠男、鈴木良吉、鈴木寛諏訪二郎、鈴木滿義、○鈴木幹雄、○鈴木德重、鈴木正秀

(五年卒業)新妻淸、新妻宮治、大越三郎、○押田正光、岡田浦次、河原正平◎高野嚴、○高田功、高橋辰雄、高橋薫、安逸郎松下弘、松崎信、福田宗男、◎會田邦男、新井彥一郎、阿部克英、齋藤勇齋藤長治、齋藤橘衞、坂本博太郎、佐藤信義、◎○根內武久、中島淸、內藤八十八、牛久繁、草野喜一、黒崎正夫、屋島治三郎、山野邊善文、山野邊正久、谷口秀雄、佐藤武雄、酒井貢、篠原善治柴田弗一、比佐正雄、百澤易正、清野正衞、須釜武志

因に修業後の志望次の如し

	三年	五年
進學	四五	三
自營	二三	一三
會社	二一	一六
銀行	二	一
商店	一四	一
官廳		二
鐵道	一	四

第二小學二十週年記念事業協議

平第二小學校同窓會役員會は昨八日午後二時より同校に開催母校二十週年記念事業に就て協議の結果來月十一日の記念日前日に總集會を催し創立以來舊師寫眞帳作製並同窓生たる美術校出身の閨秀書家石川節女史に宮城の大油繪作製を依賴し講堂に揭出すべく協議する事となつた

羽化登仙の氣分を遂に崖から墜落

泥醉の坑夫變死

內郷村大字高坂字舘野九五居住秋田縣由利郡河內村大字小川生れ元坑夫三船惣太郎(四〇)は六日午後八時三十分頃泥醉して歸宅の途中大字白水字白畑地內二十五尺の斷崖から墜落卽死した

四倉管內　消防活動

四倉署管內二町四ケ村消防組小頭以上の敎練は來十三日四倉町小學校庭に於て行はれるが指導者は磐中配屬八谷少佐で尙は翌十四日は四倉署で幹部會を開くと

會と人

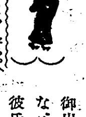
郡產組總會　產業組合郡部會では十六日午前十一時から平町各種團体事務所樓上で總會を開き七年度豫算編成役員の補欠選擧を行ふと

ロロロロロ

平豫算町會再開　今九日午後一時から

ロロロロロ

家屋税調查會　平町の第一次臨時委員會は十五日頃



艶罪黑白

◇兄さんどうしてそんなに身ぶるひしてゐるの、寒いの?それとも女をみて恥かしいの?まあ本當に初心な人だれ可愛かつてあげるから何時でも家へ遊びに御出でそれとも妾の樣なバーさんいやなの◇彼氏『……』れ、兄さんどうしたのよまだふるえてゐるの妾の樣な婆アさんがいやなのつてば……ホホ……兄さん淋し一人にしやべらせないで返事位しても善いでせう……兄さんは本當に罪だわでも善いつ、初心な兄さん大好きよ◇彼氏『何を言つてゐるんだい、寒いのでも恥かしいのでもない、醉がさめて身ぶるひしてゐるんだい、この助平婆ア目……』之は隣座敷に居たヤーさんのエロ・グロ物語り。身に覺えのある年增姿者手を上げえつ。○……○

○○○○

兒童書展開催　平第一小學校では今九日より十六日迄講堂に王樣商會募集の兒童書展覽會を催し生徒及保護者の參觀に供してゐる

ロロ

平商生見學　平商三學年卒業生約百名は今九日午前九時から高野、本田兩敎諭に引率され平發電所を見學した

ロロロロロ

四倉運動員上京　四倉町新妻町長外町議四名は農林省に向つて築港促進運動のため昨八日上京した

○○○○○

第二校珠算競技　今九日午前九時より高等科十時より尋五以上に分ち各組五名の選手を出し珠算競技會を行つた

招集される

○○○○○

養正會時局講演　立憲養正會郡支部では今九日午後六時からマルトモ樓上で時局講演會を開催

○○○○○

自動車體檢查　平署管內の自動車体檢查は二十五日磐中グラウンドで執行さる

○○○○○

所得申告注意　平税務署長唯野喜八氏の第三種所得税申告に關する講演會は十二日午後一時から平町會議事堂で開催する

○○○○○

吸殼から山火事　去る六日午前九時四十分頃四倉町字八日十日地內山林內より發火したのを消防組員が馳付け約三畝を燒き消止めた原因取り調べ中の處同町新町大河原藤十郎(六〇)が捨てた煙草の吸殼からと判明

大阪より

六日午後五時半赤い夕陽を浴びつつ入阪いたしました、超特燕はさすがに乘り心地が良いですね、車內は割合混みませんで白布に被はれた雄大な富士の勇姿を仰ぎつつ、そして東海道沿線の兩側には大小の國旗は高く揭げられ或は武運長久と莚旗に或は皇國萬歲と筆太に出征兵士の歡送の熱は盛んなものです、數多出征の兵士さんは勇ましく通過さるゝ事と存じます。(七日　濟野生)

平町慶弔錄

△出生

仲間町四一平窪村上平窪牛淵一
三江尻竹次郎三女忝子
月み町二六上小川村上小川小川山
一齋藤晉次三男滿男
村木町二八茨城縣新治郡土浦町三
三二辻己吉二女昌子

▲死亡

鍛冶町五好間村北好間椎木平九二
會川鄰雄(八)

三月十日	
木曜	二黑
庚午	大安
四平	角宿

▲一白の人　家內は和合すれども他人には警戒すべき日▲二黑の人　み越しの附かぬ日新事擴張はみ合すが安全▲三碧の人　勉强のかひありて一家笑顏に滿たさるべし▲四綠の人　空景氣のみ强くして割合に實收の少なき日▲五黃の人　物事逡巡の傾向あり目上の助力を仰ぎて吉▲六白の人　不安の事萌さんとする日進まぬがよろし▲七赤の人　內外共に順調を欠く交際にも注意すべき日▲八白の人　外けんの響きに引かれ子に乘り易き日注意▲九紫の人　運盛にして功を遂げ希望意の如くなるべし

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神誠館

吉田眼科病院
平町紺屋町

生徒募集
一、卒業年限　兩科通ジテ一ケ年
一、入學資格　高等小學卒業又ハ同等ノ學力アル者ヘ無試驗ヲ許ス
一、申込期日　四月八日迄
平一丁目
石城產婆看護婦學校
校長　鷹崎千代
電話三五七番